

【事業概要】

特定海域海産生物放射能測定調査 (試験研究費 (受託事業))

甲斐哲也*, 金城 敦

アメリカの原子力軍艦が寄港するホワイトビーチ周辺海域の海産生物の放射能水準の長期的変化を把握することを目的として、本調査では国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所の原子力艦放射能調査実施要領に基づき、試料の採取を昭和 47 年度から継続実施している。なお、水産資源研究所における放射能測定結果は農林水産省関係放射能調査研究年報（農林水産技術会議事務局）に報告される。

魚類、軟体動物、ナマコ類、海藻類等の 6 試料を年 4 回、金武湾、中城湾（ホワイトビーチ）及びその周辺海域で漁獲・採取されたものを、関係漁協から購入し、定めた前処理（種分け、冷凍）を行い水産資源研究所へ送付した。第 4 四半期は、アオリイカが水揚げ不振のため、水産資源研究所と協議の上、タコ類を代替試料として供した（表 1）。

表 1. 送付試料の内訳 (単位: kg)

試料		送付 年	2024	2024	2025	2025	備 考
		月/日	7/24	10/25	1/10	3/4	
魚 類	アイゴ		5.1	5.2	4.9	5.0	
	ヒブダイ		5.4	5.5	5.1	5.2	
	ヒメジ類		5.5	5.8	5.4	5.0	
	ヒトスジタマガシラ		5.4	-	-	-	
	タチウオ		-	-	-	2.8	
	ドロクイ		-	-	5.3	-	
軟体動物	シャコガイ類		-	19.0	-	-	殻付きヒメジャコ
	タコ類		19.8	-	-	20.0	タコ類を2回送付
	コブシメ		-	-	22.0	-	
	アオリイカ		-	-	-	-	送付なし
ナマコ類	ニセクロナマコ		17.6	22.3	21.0	20.0	
海藻類	ホンダワラ類		2.2	2.2	2.4	2.0	乾燥重量

*E-mail : kaitetsyi@pref.okinawa.lg.jp 本所